

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
作家研究	2	3	高校生のための近現代文学ベーシックちくま小説入門(筑摩書房)					
科目の目標	1 近現代の作家について複数の作品を比較しながら読解することにより、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨く。 2 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章で表現し、発表する力を身につける。 3 近現代の文学に対する理解と関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。							
時期 月週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科 等横断的な視 点等
4～6 月	作家論と作品論	読む こと	20	① 知識・技能 表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 文章を読み取りながら、自分の考えをまとめたり深めたりして、目的に応じて筋道を立てて適切に文章を書いている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 国語や言語文化に対する関心を高め、進んで表現しようと努め、伝え合おうとする。	意見交流やディスカッション中の発言、および意見の記述 意見交流やディスカッション中の発言、および意見の記述 意見交流やディスカッション中の発言、および意見の記述	芥川龍之介の小説と、作品についての論文を複数読み、作品論の考え方について学ぶとともに、作家の一生と照らして作品を捉えた場合の、作家論についても、考え方を学ぶ。	小説や論文の読み取りをもとにした意見交流およびディスカッション。	英語の学習を生かし、海外における芥川龍之介作品の評価を知るために、英語で論文を読む活動を含む。
7、9～ 10月	作家研究、作品研究	読む こと	18	① 知識・技能 表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 文章を読み取りながら、自分の考えをまとめたり深めたりして、目的に応じて筋道を立てて適切に文章を書いている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 国語や言語文化に対する関心を高め、進んで表現しようと努め、伝え合おうとする。	意見交流やディスカッション中の発言、および意見の記述 意見交流やディスカッション中の発言、および意見の記述 意見交流やディスカッション中の発言、および意見の記述	生徒たちが興味や関心のある作家の小説を持ち寄り交読し、考えを深める。4～6月に実施した芥川龍之介の作品を題材にした学習を踏まえ、小説論として成立する論理的な読みの力を深める。	小説や論文の読み取りをもとにした意見交流およびディスカッションおよび小レポートの記述。	地歴公民科と連携し、作家が生きた時代背景や思想の背後にある歴史的事実について学ぶ。
11～12 月	レポート執筆	書く こと	20	① 知識・技能 表現と理解に役立てるための文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。 ② 思考・判断・表現 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章で表現する力を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 国語や言語文化に対する関心を高め、進んで表現しようと努め、伝え合おうとする。	レポートの記述 レポートの記述 レポートの記述	研究したい作家を1人決め、その作家や作品についてレポートにまとめる。	レポートの記述。	地歴公民科と連携し、作家が生きた時代背景や思想の背後にある歴史的事実について学ぶ。
1月	発表	話す こと・ 聞く こと	12	① 知識・技能 表現と理解に役立てるための言葉遣い、発表の仕方等を理解し、身につけている。 ② 思考・判断・表現 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章で表現し、発表する力を身につけている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 国語や言語文化に対する関心を高め、進んで表現しようと努め、伝え合おうとする。	レポートの発表 レポートの発表 レポートの発表	研究したい作家を1人決め、その作家や作品についてまとめたレポートをもとに、発表する。	レポートをもとに発表。	地歴公民科と連携し、作家が生きた時代背景や思想の背後にある歴史的事実について学ぶ。
こ と の 指 導 時 間 数	話すこと・聞くこと		12					
	書くこと		20					
	読むこと		38					
指導時間数の合計			70					